

令和5年度

一般会計 決算討論

賛成多数で認定

賛成

長期的な視点に立った市政運営の継続を

青藍会 川島秀男 議員

令和5年度の市一般会計決算は歳入歳出ともに増額になっているが、公共施設関連工事や市民生活の支援、地域経済の活性化など、基金も活用しながら適切かつ効果的な事業執行が行われてきたことを確認した。

また、市税の収納率が過去最高の99.4%であったことも高く評価する。

今後も社会情勢の変化を踏まえ、長期的な視点に立った安定的かつ健全な市政運営の継続を期待する。

賛成

安定的な自主財源の確保を評価

公明党 古越孝子 議員

予算に対する収入率と執行率いずれにおいても令和4年度を上回った。また、不用額は減少となっていることから、適切な予算積算及び編成・執行が行われていることを評価する。

また、自主財源の根幹をなす市税の収納率は高い割合を示し、収入未済額については過去最少となり、収入未済の縮減、新規滞納の発生防止により、徴収対策を継続して進め安定的な自主財源の確保への取り組みを評価する。

反対

暮らしを守る市独自の対策が不十分

日本共産党 塚越洋一 議員

コロナ禍が長引く中で、市民生活と事業者の実態に応じた市独自の積極的政策展開が必要だったにもかかわらず、その対応が限定的な部分にとどまり、本当に困っている人たちにきめ細かに行き届かせることができなかった点は、財源を有効に生かすことができず極めて残念である。

民営化によって、市の職員から現場が遠くなる課題がある。再委託は現場に直接出向き、実態を正確に把握することを求める。

賛成

議会が認めた予算を適切に執行

会派外の議員 民部佳代 議員

二元代表制のもと、議会が承認した予算に基づいて適切に執行された。

物価高騰対策や政府による唐突な制度改正など行政の負担も大きく人材確保が課題だが、職員の賃上げは適切に行われた。

ふじみ野ステラ・ウェストは市職員を現場に配置すべきであった。今後に生かしてほしい。

学校では民間プールの活用や教員業務支援員の配置などで教職員の長時間労働も減り、児童生徒に向き合う時間が増えたことを評価する。

賛成

ふるさと納税・社会教育事業を評価

会派外の議員 金濱高顕 議員

ふるさと納税は市の貴重な財源と考える。担当課職員の行動と推進する取り組みを積極的に実施したことで、前年度比61%増の大幅な増加となったことを大きく評価する。

社会教育事業でも市民が閲覧することができる遺跡情報システムについて、取り組みの結果アクセス数が前年度の倍増を超える成果となった。今後は体験を伴う文化財に触れる機会の増加などにおいて成果を期待する。